

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成24年2月16日

第14回島原半島高校生卒業記念 植樹・育樹の集いに共催しました。

発信元

雲仙復興事務所
調査・品質確保課 大鷹 祥子

島原半島の高校を今年卒業する生徒による卒業記念植樹・育樹が2月10日、島原市千本木砂防指定地内で行われ、628人の生徒さんが参加しました。

この活動は、噴火災害で焼失した雲仙の森に緑を蘇らせようということ、「雲仙百年の森づくりの会」が主催のもと、毎年この時期に行われています。当日は、地元で採取した樹木の種から育てた苗木を1,500本植樹しました。また過去に植樹した場所の下草刈り(育樹)も行われました。

開会の挨拶では、雲仙百年の森づくりの会会長、島原半島高校を代表して島原高校の校長先生、当事務所田村所長よりそれぞれ挨拶があり、「島原半島で生まれ、これから就職・進学等進む道は異なるが、これまでの思いを苗木に託して植樹してほしい。この地を離れる方々も多くいると思いますが、ふるさとの災害を忘れずにいてほしい。今日の日の出来事が良い思い出となってくれればと思います。」等の言葉がありました。

挨拶の言葉通り、今回参加した生徒のみなさんの良い思い出になり、災害のことを忘れずにいてほしいと思いました。また、雲仙復興事務所砂防事業の目的である「緑の再生」(ハード対策だけでなく)をみなさん汗をかきながら体験することで、アピールできたのではないかと思います。

田村所長からの挨拶



下草刈り(育樹)



さあ～、今から始めよう!!